

まえがき

本報告書は、緑化生態研究室が平成30年度に行った調査・研究の概要ならびに、当研究室のスタッフが平成30年度に学会や雑誌などで発表した論文を収録したものです。

平成30年度に実施した調査・研究課題は、大きく以下の4テーマに分類されます。

- ① 樹木の管理と更新に関する研究
- ② 生物多様性の確保に関する研究
- ③ 良好な景観の形成に関する研究
- ④ 公共空間の分析と計画に関する研究

「① 樹木の管理と更新に関する研究」では、道路空間や地域特性に適応した道路緑化に関する研究を実施しました。

「② 生物多様性の確保に関する研究」では、都市の生物多様性の確保に向けた簡易なモニタリング手法の開発及び活用に関する研究、目標となる河川植生の成立条件及び実現手法に関する検討調査、鳥類の良好な生育環境としての河川環境の評価と管理方針に関する検討調査、生物との軋轢解消アルゴリズムの創出に関する研究を実施しました。

「③ 良好な景観の形成に関する研究」では、質の高い公共デザインの枠組みと進め方に関する研究、道路空間再構築の計画・設計手法に関する研究を実施しました。

「④ 公共空間の分析と計画に関する研究」では、公共事業における環境技術の融合・複合化に関する研究、少子高齢化社会に対応した都市公園の機能再編手法に関する研究、東日本大震災からの復興に係る津波防災緑地等整備の状況とその効果に関する研究、都市における緑農環境保全の計画・実現手法に関する研究を実施しました。

また、これまでの研究の一部を以下の国土技術政策総合研究所資料（以下国総研資料）にとりまとめました。

- ・「街路樹の倒伏対策の手引き 第2版（平成31年2月）」（国総研資料第1059号）
- ・「わが国の街路樹 VIII（平成30年11月）」（国総研資料第1050号）
- ・「防災系統緑地の計画手法に関する技術資料—都市の防災性向上に向けた緑の基本計画等の策定に係る解説書—（平成30年6月）」（国総研資料第1036号）

緑化生態研究室は、地球規模の環境問題を踏まえつつ、自然と人間の共生する緑豊かな国土を形成し、国民が豊かさを実感できる生活環境を形成するため、今後も環境研究に邁進する所存であります。

皆様におかれましては、多岐にわたる当室の調査・研究の概要等を集約した本報告書を通じて、当室の取り組みへのご理解を深めていただくとともに、その成果が当室の担う目的の実現に着実に結びつくものとなるよう、引き続き変わらぬご指導をいただければ幸いです。

令和元年10月

国土交通省 国土技術政策総合研究所
社会資本マネジメント研究センター
緑化生態研究室長 舟久保 敏